

朗読音源を使用した海上安全教室の進め方（例）

1 朗読音源についての検討

朗読音源には、題名「ともだち」「あの日」、「夏休み」の3話ありますので、学びのポイントをご参考に使用する音源を選択してください。

「ともだち」→小学校低学年向け

「あの日、」→小学校高学年向け

「夏休み」→中学校以上

2 児童等に対する事前説明等

事前説明の前に別添ワークシートを配布してから、

- ・ 「今から海で事故に遭わないためにはどうすれば良いかということについて考えてみたいと思います」
- ・ 「これから、子どもが事故に遭ったお話を聞いてもらいますので、最後まで静かに聞いてください」

等の説明をお願いします。

3 朗読音源再生

1で選択した音源を聞かせます。

（各再生時間5～6分程度）

4 グループ討議

(1) 児童等に対し、「このお話の中で注意すれば良かったこと、自分だったらこのようにするなどについて、みなさんで話し合ってみてください」と投げかけてから、話し合いを始めてください。

(2) グループ代表者による意見発表

ワークシートには、児童等各自の意見及びグループの意見を記入

5 海上安全教室の学習のまとめ（振り返り）

学びのポイントを基に振り返り学習を行ってください。

（各児童等には、まとめをワークシートに記入させてください。）

※これで学校での海上安全教室は終了となります。本安全教室終了後に別添リーフレット事例「あの日」又は「ともだち」、「夏休み」を配布してください。

6 児童等と保護者による話し合い（振り返り）

各児童等は、学校で記入したワークシートと事例を自宅に持ち帰り、事例について、話し合ってもらい、今後、保護者として注意すべきこと、子どもに対して注意していきたいことなどの意見を記入後、学校に提出（任意）してもらってください。

7 ワークシートを使用する効果及び活用

(1) ワークシートの記載内容から、児童等の安全意識レベルの確認、本安全教室における理解度が読みとれ、保護者記入欄から、保護者の考え方も確認ができます。

- (2) 学校に提出されたワークシートから児童等の安全意識レベルを知ることができ、学校での安全教育に利活用できます。
- 8 本朗読音源の使用例として別添「朗読音源を利用した海上安全教室の進行表(例)」を参考にしてください。

お問い合わせ先

〒985-0011

宮城県塩釜市貞山通三丁目4番1号塩釜合同庁舎5F

宮城海上保安部交通課

TEL・FAX 022-367-3917

朗読音源を利用した海上安全教室の進行表（例）

【内容】

	学習活動	時間	主な働きかけ及び留意点
1	朗読音源を聞く	5～6分	同年代の重大事故の概要を知り、事故は身近で発生し得るとの認識を持たせる。
2	グループ討議		事例の中の問題点 リーダー発表
3	まとめ（振り返り）		学びのポイントを基に学習の振り返りを行う
4	各家庭での話し合い		海の事故に遭わないための注意事項 ●子どもだけで海に行ってはいけません、大人一緒に行きましょう ●監視員がいる海水浴場で泳ぎましょう ●天気が悪いときや、海が荒れているときは絶対に泳がないようにしましょう ●体に合った救命胴衣を着けましょう